

## 区政会議でいただいたご意見への対応方針

番号	年月	区政会議委員意見	対応方針	分類
令和5年度第1回区政会議（令和5年8月3日開催）				
1	R5.8	<b>【乳幼児健診】</b> ・育児が大変そうな保護者を行政が見つけたら児童委員に情報を流してもらいたい。（大野委員）	特定妊婦、要保護及び要支援児童の状況については、主任児童委員が出席する要保護児童対策地域協議会において情報を提供し、取り得る支援について協議することとしています。なお、乳幼児健診には保健師、保育士が参加しており、育児が大変そうな保護者の方には、子育て支援サークルをはじめとする各種支援機関を紹介しています。	⑤
2	R5.8	<b>【子育て支援サークル】</b> ・子育て支援サークルは参加者が少なくなってきたり、区役所に情報提供することは少なくなっている状況。つどいの広場事業に、たくさんの子育て世帯が参加しているのであれば、それらの事業者から情報をもらって連携してもらいたい。（石野委員）	事業者とは、2か月に1回の定期的な会議の他、緊急時には随時、連絡を取り合い情報を共有することとしております。	⑤
3	R5.8	<b>【虐待】</b> ・地域行事で親子に参加してもらえたらいいと思うが、参加しない親子をどうするか。心配な世帯の状況を知ったときに通報するシステムが浸透していない。（児玉委員・石野委員） ・相談できるチャットボットが良いのではないかと。（飛田委員） ・虐待しているのではと声をかけられた保護者は余計に周りから干渉されたくないのでは。専門員による相談窓口があるので、もっと周知してもらいたい。（岡崎委員・大野委員） ・子どもの年齢層によって連携先が異なり、どこと連携するかを明確にすべき。（植田委員） ・課題のある世帯に寄り添うことの大切さが重要。気にかけてくれる人がいると思えるだけで安心感があると思う。（平田委員）	子育てをしていく中でSOSを出せない場合、いろいろな事が積み重なることで限界を迎え、結果的に虐待をしてしまうことがあります。重大な虐待の発生を未然に防止するためには、行政の子育て支援施策と併せて、隣近所の方々の『気づき』をきっかけとした行政機関などへの連絡が非常に重要となります。そのためには、区民の方々の『気になる・気にかける』という意識の醸成を図っていく必要があると考えます。他区や他の自治体の事例も調査しながら、意識の醸成のみならず、意識の向上を図る取組についても検討していきたいと考えます。	⑤
4	R5.8	<b>【学校】</b> ・生野区では少子化に伴い小学校を統廃合した。五条小学校はマンション建設により児童数が増えているので、分校してはどうか。 ・消防のはしご車は7階まで届くとのことで、7階建ての小学校を建設し、高層化したらどうか。（岡崎委員）	五条小学校について、校区内マンション建設による児童数の増加が見込まれる件につきましては、人口動態統計なども参考にしつつ、教育委員会と連携をとり、天王寺区の状況について情報共有を図ってまいります。また校舎の高層化につきましては、地域のご意見として教育委員会に共有してまいります。	①
5	R4.8	<b>【区政会議】</b> ・これまで新聞折込が希望者に個別配付としていた広報紙について、必要とされる方に行き届いていないのではないかとこの意見を出したら、今年の5月より全戸配布に切り替わった。また高齢者の見守りも地域福祉コーディネーターを立ち上げてくれるなど、区政会議で発言した意見をちゃんと取り入れてくれている。（余部委員）	両事業とも、区政会議委員から頂いたご意見をもとに協議・検討を重ね、実現に至りました。とりわけ地域福祉コーディネーターにつきましては、令和5年4月よりモデル実施し、地域会館等での相談窓口の設置や支援活動を予定しております。今後もいただいたご意見について、区政や地域福祉事業へ反映していくことができるよう検討してまいります。	①
6	R5.8	<b>【見守り】</b> ・男性高齢者が地域活動に参加いただくためにボランティアと民生委員と一緒に何度も訪問して、対面で話をして地域活動の参加に繋げてきた。これからも続けていきたい。（余部委員） ・独居高齢者見守りで、地域の行事を回覧板で回しているが、高齢者宅へ訪問する時に、食事サービス、ふれあい喫茶、公園清掃、防犯夜回りなど様々な予定を1つにして案内し「これなら参加できる」と思ってもらい、地域と繋がってもらいたい。（中野委員）	地域とつながりの薄い独居高齢者等に、見守り活動の中で地域行事・活動への参加を促していただくことは非常に重要な取り組みであると考えています。各地域での活動や開催場所の周知については、区社協発行の「地域の情報誌」や区、区社協、老人福祉センターの広報紙などもご活用下さい。区としても区社協等と連携し、様々な情報を地域活動者やボランティア、民生委員等に提供し、孤立された方が一人でも多く地域とつながりを持つことができるよう取り組んでまいります。	①
7	R5.8	<b>【ヤングケアラー】</b> ・地域福祉ビジョンの次期計画の策定ポイントの箇所において、「ヤングケアラー」をあげているが、天王寺区には何件ぐらいいるのか？ ・子どもを取り巻く環境について「気付きが重要」とのことだが、この背景には、昔と違い誰もが「個人・個人」との考えから周りに対し無関心であり、そういった実情に目を向けようと思いたい。（安田委員）	区ごとのヤングケアラー数については公表されていませんが、大阪市立中学校128校の1年生から3年生の生徒を対象とした実態調査（令和4年7月公表）では有効回答数のうち『ケアを「している」と回答した者すべてをヤングケアラーとみなした場合、ヤングケアラーの存在割合は約9.1%であった』という結果が示されています。ヤングケアラーの発見には周囲の気づきと、子ども自身がヤングケアラーであることについて自覚する必要があります。今後とも関係機関や学校園、地域とも連携しながら、啓発・周知をはじめ、支援を必要としている児童等を福祉につなげていくことができるよう取り組んでまいります。	②

8	R5.8	<p>【地域包括ケアシステム】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「多職種のつながり」と「総合的な相談支援体制づくり」の内容が重複するのではないか。(安田委員)</li> </ul>	<p>ご意見の通り、大きい観点では重複しているところもありますが、「多職種のつながり」については医療、介護、福祉の専門職の連携強化について、「総合的な相談支援体制づくり」は、それらも包括した相談支援機関、地域、行政の連携・体制強化をめざしています。今後、第2期地域福祉ビジョンを策定する際には、内容の整理も検討してまいります。</p>	②
9	R5.8	<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食料や日用品などのローリングストックの例を防災コーナーとして区役所やスーパーマーケット、ホームセンターなどに設置するのはどうか。(佐野委員・上田委員)</li> <li>・マンションなどは必ずエレベーターが止まるので、事前の準備が大切だが気づいている人は少ないと思う。(佐野委員)</li> </ul>	<p>8月28日から9月8日まで区役所区民ギャラリーにて防災コーナーの展示を行いました。今後、スーパーマーケットやホームセンターなど民間企業にも働きかけてまいります。また、マンションにはエレベーターを含め停電による断水なども想定されることから、マンション防災の学習会、出前講座、ハンドブックなどで事前の準備の大切さと具体的な方法について、引き続き周知してまいります。</p>	①
10	R5.8	<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・達成状況を区民モニターアンケートの回答で把握しているが、より正確な状況を得るため、設問を工夫してはどうか。</li> <li>・災害時はトイレも重要な課題である。防災トイレの準備についても、アンケート項目に入れるのはどうか。</li> <li>・広報紙の防災特集記事に、関連する動画に繋がる二次元コードを掲載してはどうか。</li> <li>・災害時にはヘッドライトが役立つ。自転車のヘルメットにつけることもできるので、合わせて普及してはどうか。(佐藤委員)</li> </ul>	<p>今後、区民モニターアンケートを実施する際、設問を工夫し、防災用トイレ(凝固剤等の備蓄)に関しても項目に追加してまいります。また、広報紙につきましても二次元コードの追加など、より分かりやすく工夫してまいります。災害時には手をふさぐ懐中電灯よりもヘッドライトが便利であることを出前講座などを通じて周知してまいります。</p>	①
11	R5.8	<p>【防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災を特別なことにせず、カセットコンロでお湯を沸かし、カップラーメンを食べたり、遠足でリュックサックを使った後に災害時準備品をセットするなど、日常の延長で考えるよう発信するのはどうか。(栗谷委員)</li> <li>・学校の子どもたちに地域のイベントで缶詰や温めないレトルトカレーなどで災害時の食事を体験させたことがある。子どもが防災に関する体験をすることで、家庭での防災に関する会話に繋がり、意識が高まる。(上田委員)</li> </ul>	<p>学校への防災出前授業などを実施する際、リュックの活用について、日頃から災害用準備品を入れておき、遠足のときに中味を入れ替えて点検できる方法等、防災への備えは特別な準備をしない日常の延長でできるという考え方を伝え、また、災害時の状況をイメージできるような伝え方の工夫をしております。</p>	②
12	R5.8	<p>【SDGs】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民感覚ではSDGsについてよく分からない方も多いのではないかと感じる。(寺岡委員)</li> </ul>	<p>広く区民の方がSDGsの基本的なことを理解していただけるよう情報発信に努めてまいります。</p>	①
13	R5.8	<p>【大阪・関西万博・区制100周年】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区制100周年、大阪・関西万博の絵画・ポスター・キャッチコピーコンクールの優秀作品はタイムカプセルに保存するなどしてはどうか。物理的に難しければホームページ上で次の世紀まで残すなど。また、商店街に絵を掲示するなどはどうか。(立川委員・三輪委員)</li> <li>・同じタイミングで周年を迎える小学校等と協力してはどうか。</li> <li>・小中学校に目安箱を設置して意見聴取をしてはどうか。(立川委員)</li> <li>・区制100周年、大阪・関西万博に関して、企業のメリットも考慮しながら地元ゆかりの企業、店舗との協力事業を考えてみてはどうか。(三輪委員)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちの作品につきましては、区のホームページ上でデジタル作品展を行うほか、区の各所において巡回作品展を実施します。</li> <li>・区内の学校で周年事業を行う学校との連携につきましては今後検討してまいります。</li> <li>・子どもの意見を区政に反映するしくみにつきましては、学校と調整しまして手法も含め今後検討してまいります。</li> </ul> <p>なお8月10日からこども青少年局にて「こども若者の声を募集します」として小学生以上の子どもの意見を集約する取り組みが始まっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・企業との協力につきましては、現在も「絵画・ポスター・キャッチコピーコンクール」において協力をいただいているところですが、今後ますます区制100周年、大阪・関西万博を盛り上げるため、さらなる連携ができないか検討してまいります。</li> </ul>	①
14	R5.8	<p>【情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の回覧板による周知は有効と思われる。(石川委員)</li> <li>・広報板による周知は有効と思われる。(三輪委員)</li> <li>・区役所の周知チラシ等は文面等が固いと感じる。親しみやすい周知方法を考えては。(寺岡委員)</li> </ul>	<p>紙媒体での情報を求める方も多く、お手元に情報をお届けするために、町会回覧板による周知依頼や、広報板への掲示は有効と考えております。今後とも「伝わる広報」を意識した情報発信に取り組んでまいります。</p>	①
15	R5.8	<p>【SNS】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区のX(旧Twitter)のフォロワー数、閲覧数が伸びていない。区のイベント等をもっと積極的に発信してはどうか。住みます芸人、地元企業との協力も考えられる。(立川委員)</li> </ul>	<p>区のX(旧Twitter)などのSNSについては、多くの方に手軽に素早く情報をお伝えするツールと認識しており、積極的な更新による情報発信に努めてまいります。</p>	①
16	R5.8	<p>【ホームページ】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・区ホームページが見づらい。</li> <li>・区ホームページに広報紙の特集ページを掲載してはどうか。(三輪委員)</li> </ul>	<p>区ホームページの構成については、いただきましたご意見も参考にさせていただきながら、改善に努めてまいります。</p>	①

※分類

- ①当年度(5年度)において対応 ②6年度運営方針に反映または6年度に対応予定  
 ③6年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可  
 ⑤その他